

依頼発話行為に関する日中対照研究  
—意味公式から見る依頼負担度の影響を中心に—

A Contrastive Study of Request Speech Acts in Japanese and Chinese:  
Influence of Degree of Imposition on the Selection of Semantic Formulas

趙 丹楠  
ZHAO Dannan

## 目次

1. はじめに 2. 先行研究 3. 研究目的 4. 研究方法 5. 結果及び考察 6. 結論 7. 今後の課題

## 要旨

本研究では依頼発話での意味公式の選択における依頼内容の負担度と依頼者の母語の影響を明らかにする。調査では、日本語母語話者（JNS、20名）と中国語母語話者（CNS、20名）の知り合い関係の20代の大学生に対して、依頼行為の負担度の異なる2種類（軽度と重度）のロールプレイにより、会話データを収集した。両言語の発話パターンを意味公式で分析その結果、依頼発話行為全般では、JNSはCNSと比較して、状況説明において、一つ一つの情報を、被依頼者の理解を確認しながら、述べていくのに対して、CNSの場合には、要点を簡潔に述べる傾向があることが分かった。また、CNSは直接依頼行為が好ましい傾向が分かった。

## 1. はじめに

日常生活で円滑なコミュニケーションを行うために、単なる丁寧さや敬意だけではなく、話し手の上下意識や親疎意識に基づき、言語形式を選択する言語表現の待遇表現と、人間関係を構築・維持するための発話行為が重要である。

日本語母語話者と中国語母語話者の接触場面で、依頼発話行為がよく見られる。熊谷・篠崎（2006）によれば、他人に何かを依頼する際に、主に2つ問題点がある。一つは人間関係を損なわないようにすることである。もう一つは確実に依頼が実施されることである。しかし、この二つのことは両立できない。異文化の壁があるため、誤解を生じ、人間関係をスムーズに遂行できなくなる可能性もある。

## 2. 先行研究

### 2.1 依頼表現の定義

依頼表現に関する定義は様々であるが、関口（2007）によれば、依頼は自己あるいは自己と関係する者が恩恵を受けるために、ある行動をとるよう、他者に申し出ると同時に他者に負担をかけることを述べる、比較的丁寧な表現である。

本研究では、「依頼」という行為には、依頼をする相手に、程度の差はあるものの、何らかの負担を強いることを条件とするため、それを含めている関口（2007）の定義を採用する。依頼表現とは「自己あるいは自己と関係する者が、恩恵を受けるためにある行動をとるよう他者に申し出る、また同時に他者に負担をかける」発話行為と定義できる。つまり、趙（2019）によると、依頼という発話行為は、「相手に何かをお願いする際に使われる表現である」と述べている。

## 2.2 現在までの依頼発話行為の研究

張（2013）は日本語母語話者と延辺朝鮮語（中国東北部朝鮮族の話す言葉）の母語話者の依頼発話行為を比較対照した。日本人 62 名、延辺朝鮮語母語話者 62 名を対象として、依頼者と被依頼者の関係は親しい友人と設定し、金銭を借りる場面では、2000 円を借りる、1 万円を借りる 2 つ場面、また、授業の発表課題で苦手な英語で書かれた論文をあなたの母語への翻訳を依頼することでは、2 ページを依頼する、そして 10 ページを依頼する 2 つ場面の、合わせて 4 場面であった。意味公式で分類された。分析の結果、日本語の発話行為においては、親しい友人関係においても、受け入れの難しい依頼は、初めての依頼はすぐ承諾することは少なく、曖昧な態度や拒絶が一般的である。従って、張（2013）の分類表は日本語における「まじで」について、「確認要求」とみなされた。

グエン（2014）は日本語における「本当に」「いいですか」について、言語形式から依頼者の確認要求とみなされがちであるが、実際は被依頼者に向けた負担軽減であることを指摘している。依頼者が被依頼者に依頼を承諾する、あるいはしたことに対する配慮であったり、また感謝の意を表することで、被依頼者の負担を軽減するための発話であるとする。この負担軽減の発言する文脈を検討すると、いずれも依頼者は被依頼者の承諾に疑念を抱いているわけではなく、もし、依頼者がこのような表現を使用せず、「ありがとう」という感謝表現のみを使用した場合には、「相手がその依頼を受けるのが当然である」と受け取られてしまい、被依頼者を傷つけてしまいかねないとする（p.98）。

## 3. 研究目的

日本語母語話者と中国語母語話者の依頼発話行為における、意味公式で日中両言語をそれぞれに分類し、談話構造の相違点を明らかにする。また、依頼行為の負担度により、その発話行為にどのような影響を与えるのかを検証する。

## 4. 研究方法

### 4.1 協力者

本研究の協力者は社会的地位が同等の知り合い関係の大学生を対象とし、日本語母語話者 20 名（男性 9 名、女性 11 名）、と中国語母語話者 20 名（男性 20 名、女性 0 名）である。負担度は軽度と重度を分け、40 件の会話例を収集した。年齢は日本語母語話者が 20 歳から 21 歳で、中国語母語話者は 21 歳から 27 歳である。

### 4.2 調査方法

本研究はロールプレー方式で発話行為データを収集する。ロールカードを作成し、依頼者と被依頼の役割、場面状況を記し、日本語母語話者用の日本語版と、中国語母語話者に中国語で依頼発話行為をしてもらうための中国語版の 2 種類を用意する。ロールプレーを録画し、すべて文字化を行う。また、出現した依頼表現を、構成要素（意味公式）別に抽出・集計し、展開パターンを分析・考察する。

依頼発話行為に影響を与える相手への負担度の度合い別に 2 つの場面を設定した。軽度の場面は「大学の書店で新学期の授業のテキストを買おうとしたのですが、手持ちのお金が足りなくて、3000 円を借りる」とし、重度の場面は「両親からの仕送りは 10 日ほど遅れ、家賃の支払いの期限が迫り、3 万円を借りる」とした。各グループ分けを行い、各条件にも振り分けて分析を行う（表 1 参照）。

表1 各グループ・条件

負担度・軽度		負担度・重度	
JNS → JNS	CNS → CNS	CNS → CNS	JNS → JNS
10 組	10 組	10 組	10 組

### 4.3 データの分類に使用する意味公式

本研究では、グエン (2014) の指摘は基準として、日本語における「本当に」「いいですか」「まじで」については、論理型の A2-4「情報要求・確認要求」から、負担感論理型 A4-7に移し、「負担軽減」に分類した。分類に用いたデータは本研究が採取したものである (表2 参照)。

本研究の依頼発話パターンの分類に使用する意味公式は張 (2013) に基づいた。しかし、張 (2013) の分類表は厳密な表現が使用されていない箇所があったため表現を改変し、本研究の例を添えることで、より厳密な意味公式の分類ができるように努めた。

また、依頼者の発話と被依頼者の発話は両方とも分析したが、被依頼者の意味公式には、特徴がみなされていないので、本研究は依頼者側の意味公式だけ分析する。

表2 本研究の分析で用いる意味公式 (張 2013 に基づき、筆者が改変)

ストラテジーの型	発話機能タイプのストラテジー		分類例
A1: 主張型 依頼者に行ってほしい依頼事項を単に伝える	1	直接依頼: 被依頼者に直接的に頼む	・貸してくれないかな? ・借我点钱呗。
	2	間接依頼: 被依頼者に間接的に頼む	・我有个事拜托你。(ちょっとお願いがあるんですけど。)
A2: 論理型 自分の置かれている状況や依頼行為の必要性を理解してもらうために置かれている情報を説明する	3	状況説明: 自分の状況、様々な情報を説明する	・ちょっと、なんか、親から都合なんか、10日くらいちょっと、仕送りができないって言われてさあ、3万、ちょっと足りないだけけどさあ
	4	情報要求・確認要求: 被依頼者に情報や確認を求めたりする (下記 A4-7 参照)	・B, 你带钱了么, 身上有3000块钱吗? (Bさん、お金を持ってる? 3000円持ってる?)
A3: 正当型 人が持っている個人的・社会的価値を尊重、することを指摘・強要する	5	親密・依存: 極めて仲のよいこと、被依頼者に頼らなければならないと説明する	該当データなし
	6	称賛: 被依頼者を褒め称える	該当データなし
A4: 負担感関連型 相手が感じる負担を少しでも減らそうとする働き、被依頼者にも利益があることを示したり、負担をかけたことについて埋め合わせる意思を伝えたりする	7	A2-4の被依頼者への情報要求・確認要求の形式を取っているが、実際に、配慮表現である (筆者改変) 負担感の軽減: 被依頼者の感じる負担感を少しでも減らそうとする働きである	・え、マジ?! いいの? ・你够不够? 你要不够也没事儿, 我找别人借。(どうかな? 足りなくても大丈夫、他の人に聞いてみるから。)
	8	負担感の埋め合わせ: 被依頼者の感じる負担感を償おうとする様々な働きである	・申し訳ないけど、 ・到时候请你吃饭。(今度おごるよ。)
A5: 对人的配慮型 相手の立場を考えたり、よい人間関係作りをする	9	配慮発話か受け止め: 被依頼者の否定的な情報を一旦受け止め、理解を示す類	・あ、そうか。わかった。ありがとう。
	10	感謝: お礼を言う	・谢谢。(ありがとう)
	11	被依頼者への返事	・うん、うん、はい。
A6: 圧力型 依頼を強制したり、不満、批判、罵り、非難、皮肉をすることで圧力をかける	12	被依頼者への配慮また、相手の発話を確かめたりして、ただ繰り返して読む:	・そうなんですよ。 ・行、行行行 (いいよ、いいよ。)
	13	強要: 依頼を承諾するように押し付ける 加圧: 被依頼者への不満、批判、非難、皮肉。自己非難と自己皮肉	・いや、できれば、3万円が良くて、まあ、 ・我, 很快就能还给你的。(すぐに返します。)
A7: 被依頼者への呼びかけ	14	呼びかけ: 依頼者が被依頼者に発話を開始する際の呼びかけ	・诶, B, 忙吗? (あの、Bさん、ちょっといいですか?)

## 5. 結果及び考察：日本語母語話者と中国語母語話者の依頼発話行為の展開パターン

会話例に個人名などのデータが出現した場合には、個人情報の保護の観点から、以下、依頼者を A、被依頼者を B とする。

### 5.1 日本語母語話者（JNS：Japanese Native Speaker）の負担度・軽度の場面

日本語母語話者（下記の表では JNS と表記する）の依頼発話では、個々の状況の説明を重ねることによって、依頼者がなぜ、その依頼行為が必要であるのかを説明した後、不足の 3000 円を借りたいという直接依頼を行う（会話例 1 参照）。

今回の調査において、負担度・軽度の場面では 10 組の 9 組で、直接依頼を使用したこととなる。1 組は間接依頼を用いている。

#### 会話例 1

依頼者	貸してくれますか？	A1-1 直接依頼
-----	-----------	-----------

会話例 2 において、依頼者は状況説明で教科書が必要であることを述べ、そのため、教科書を買わなければならないと述べている。被依頼者は承諾した後で、自発的に保証を述べた。先に返金の保証を述べたケースは 10 組の 6 組であった。

#### 会話例 2

依頼者	はい、ありがとう。今度返すね。	A5-10 感謝 A4-7 保証
-----	-----------------	---------------------

依頼承諾後の発話を見ると、依頼者が被依頼者に対して表明する負担軽減が特徴的である。被依頼者の「3000 円貸そっか？」という発話に対し、「え、マジ！いいの?」、「本当に?いいの?」、「マジで、え、じゃ」のように負担軽減の形で被依頼者を気遣っている。このような承諾後に見られる負担軽減の表現は、グエン (2014) が指摘する通り、JNS の依頼発話行為においては、被依頼者への負担度が軽い場面においても特徴的である（会話例 3 参照）。

#### 会話例 3

被依頼者	3000 円貸そっか？	B1-2 依頼承諾の可能性
依頼者	え、マジ?!いいの？	A4-7 負担軽減
被依頼者	うん。	B1-1 承諾
依頼者	本当に?いいの？	A4-7 負担軽減
被依頼者	明日必要なら、	B1-2 依頼承諾の可能性
依頼者	マジで、え、じゃ、	A4-7 負担軽減

負担度の軽度の依頼場面において、返金の保証を述べるケースは 10 例の 9 例であった。被依頼者は承諾する前に、被依頼者が依頼を受け入れる可能性を高めるために、保証がなされた例が 3 例であった。また、被依頼者が依頼を承諾した後で、依頼者が返金の保証を述べるパターンは今回の会話例では 10 例の 5 例であった。被依頼者からの返金保証は 1 例であった。承諾後に、依頼者にも被依頼者にも保証について言及しない例が 1 例あった。

## 5.2 中国語母語話者（CNS：Chinese Native Speaker）の負担度・軽度の場面

中国語母語話者（下記の表ではCNSと表記する）の依頼発話行為では、JNSと同様に、直接依頼をしているケースが10例の全てであった（会話例4 参照）。

### 会話例4

依頼者	诶，B，幸好碰到你了，你带带3000块钱，快借我一下我待会买书用，我钱包落家了。（あの、Bさん、会えてよかった、3000円持ってる？ちょっと貸して、教科書を買に行くから、財布を家に忘れてしまったの。）	A 7-14 呼びかけ A 1- 1 直接依頼 A 2- 3 状況説明
略		
依頼者	好，谢谢啊，到时候请你吃饭。（うん、ありがとう。今度おごるよ。）	A 4- 8 補償

上記の会話例4においては、会話がその全ての状況が説明してなく、緻密に構成されていない。呼びかけ後に、直接依頼を行った。感謝を述べた後に、依頼発話行為を完了している。また、被依頼者を承諾した後、「到时候请你吃饭。（今度おごるよ。）」を言及した。「ご飯のおごる」という表現は中国語でよく使用される補償発話行為であり、実際の行動を行う場合はあるが、ただの配慮表現である場合もある。フォローアップインタビュー（FUI）によると、協力者の2人とも、負担度が軽いと思って、配慮表現と思われる。

会話例で依頼者は先に返却を確約する保証という行為を用いている。今回の10組調査で、被依頼者は承諾する前に依頼者が保証を言及する組は2組であった（会話例5 参照）。

### 会話例5

依頼者	嗯…借我点钱呗，我会买个书，我今天没带钱包，下次还你。（うん…ちょっとお金を貸してもらってもいいかな、本を買いに行きます。私、財布を忘れてしまって、今度返すわ。）	A1-1 直接依頼 A2-3 状況説明 A4-7 保証
-----	---	-----------------------------------

返金の保証について、CNSのデータで10例の8例が出現した。依頼者は被依頼者が依頼を受け入れる可能性を高めるために、依頼者は先に返却を確約する保証という行為を用い、被依頼者は承諾する前に依頼者が保証を言及するケースは2組であった。依頼者は被依頼者が依頼を承諾した後で、返金の保証を述べるケースは10例の2例であった。被依頼者からの返金保証は4例であった。その中で、被依頼者が承諾する前に保証要求のケースは1例であった。承諾した後で保証要求のケースは3例であった。また、保証について依頼者にも被依頼者にも言及しないケースが2例であった。借金の3000円は返金と言及していないことに対して、中国語でよく使用される補償発話行為の「ご飯のおごり」として使用した。

## 5.3 日本語母語話者（JNS）負担度・重度の場面

JNSは負担度の重度の場合において、依頼者が被依頼者に状況説明をした後、直接依頼を使用したのは10例中8例見られた。間接依頼は10例の2例であった（下記会話例6 参照）。

### 会話例6 依頼者（JNS）vs 被依頼者（JNS）間接依頼

依頼者	貸していただけたら、貸していただきたい。そして、すぐお金入ったらすぐ返すので、どうでしょうか？	A1-2 間接依頼 A4-7 保証
-----	---	----------------------

また、返金を確約する保証について、10例の7例で言及している。被依頼者が依頼を受け入れる可能性を高めるために、依頼者は先に返却を確約する保証という行為を用いているケースは5例であった。被依頼者は承諾した後、依頼者は保証について言及していない場合は被依頼者からの保証要求のケースは2例であった。そして、保証について言及していないケースは3例であった。

しかし、負担度・軽度の会話例においては、保証について言及していないケースは1例にすぎないことに

対して、負担度・重度は3例であった。それは被依頼者が自分の状況に基づき、受け入れ可能な金額を提示するというパターンが見られた（会話例7 参照）。

#### 会話例7

被依頼者	それで二分割だったらいいけど三万円ならもうちょっと厳しいかな (申し訳ない気分)	B1-2 依頼承諾の可能性 B3-9 理由説明
略		
依頼者	ちょっと他の人を探して	A4-7 譲歩

上記の会話例7では、依頼者が依頼を断られた後、「3万円はちょっと厳しいですね、ちょっと一万5000くらいだったら」という例や、逆に被依頼者から3万円を一度に貸すのは難しいと述べた後、依頼について可能な範囲を示しながら、依頼者に部分的な受け入れが可能であることを示唆している。また、依頼拒絶に対して、依頼者は「ちょっと他の人を探して」と提示された他の解決策を述べている。被依頼者への負担軽減とする。

#### 5.4 中国語母語話者（CNS）負担度・重度の場面

CNSの会話例では、依頼者が被依頼者に状況説明をした後、直接依頼を使用したのは10例の全ての例に見られた。

#### 会話例8

依頼者	B, 我明天就要交房租了, 能借我3万块钱么, 家里打的话还要十天左右。 (Bさん、明日家賃を払わないといけないんだけど、3万円を貸してもらってもいいですか。親の仕送りがあと10日くらいだけ。)	A2-3 状況説明 A1-1 直接依頼 A2-3 状況説明
-----	--	-------------------------------------

上記の発話例8では、依頼者は3万円を借りる必要性を被依頼者に簡潔に訴える状況説明に続いて、「能借我3万块钱么」という直接依頼が行われている。それに対して、被依頼者は詳細内容の要求も聞かれておらず、保証についての発話もなく、直接に承諾して依頼発話行為の完了となっている。

一方、今回の会話例では、保証についての発話は10例の7例であった。被依頼者が依頼を受け入れる可能性を高めるために、依頼者は先に返却を確約する保証という行為を用いているケースは4例であった。

#### 会話例9

依頼者	差3万, 就是, 最近就职嘛也没钱, 然后家人寄钱过几天过来, 过来之后还你, 还你3万5 (3万円足りなくて、あの、最近は就職活動でお金もかかって、それで親の仕送りがちょっと遅れてて、お金が入ってから返す、3万5千円)	A2-3 直接依頼 A4-7 保証 A4-8 補償
被依頼者	3万… (3万…)	B2-5 情報確認
依頼者	呃, 不, 还你3万1好吧? 哈哈哈哈哈 (えっと、違う、3万1千円かどうか? 笑笑)	A4-8 補償
略		
依頼者	手续费那啥我来出就行。(手数料なんか私が持つから。)	A4-8 補償
被依頼者	啊, 没事没事没事。(あ、大丈夫大丈夫だよ。)	B4-13 補償への配慮
依頼者	到时候过来多还你一点, 请你吃顿饭。(お金が入ったら多めに返すね、ご飯おごるから。)	A4-8 補償

上記会話例9においては、状況の説明はJNSと比較して、直接的に簡潔であるように思われる。仕送りが入金後に返すという返金の時間も述べていなくも、依頼者が状況説明をした後、被依頼者があまり内容の詳細について立ち入らない内に、依頼を承諾したケースに見られた。また、被依頼者へのお金の補償、引き出しの手数料、さらにご飯をおごるという保証を言及した。

### 5.5 データ分析のまとめ

以上の結果を表3にまとめる。負担度軽度の場面では、日本語母語話者は配慮表現を述べ、一つ一つの情報を説明しながら、依頼表現を述べていく傾向がある。中国語母語話者は、より効率的に直接依頼の表現を述べる傾向がある。負担度重度の場面では間接依頼の使用について、日本語母語話者と中国語母語話者の間の差が縮まっていることが分かった。

表3 データ統計

	JNS・軽度	CNS・軽度	JNS・重度	CNS・重度
負担感関連型	1	0	0	0
直接依頼	6	9	6	9
間接依頼	9	2	7	4
保証なし	1	2	3	3
依頼者・承諾前	3	2	5	4
依頼者・承諾後	5	4	2	1
被依頼者・承諾前	0	1	0	0
被依頼者・承諾後	1	1	2	2

## 6. 結論

依頼発話行為全般では、日本語母語話者は中国語母語話者と比較して、状況説明において、一つ一つの情報を、被依頼者の理解を確認しながら、述べていくのに対して、中国語母語話者の場合には、要点を簡潔に述べる傾向があることがわかった。

また、負担度・軽度の場合は日本語母語話者の直接依頼は6回であり、間接依頼は9回であった。中国語母語話者の場合では直接依頼は9回であり、間接依頼は2回であった。重度の場合では日本語母語話者の直接依頼は6回であり、間接依頼は7例であった。中国語母語話者では、直接依頼は9回であり、間接依頼は4例であった。今回の調査において、中国語母語話者は直接依頼行為が好ましい傾向が分かった。

最後に、保証の言及について、負担度・重度の場面では依頼者でも被依頼者でも一連の依頼発話行為を行った後で、2人とも保証について言及していないケースがあった。「保証なし」は同じく3例があっても、日本語母語話者において被依頼者は依頼者の依頼行為を拒否されたので、保証についてのお話は言及していなかった。中国語母語話者においては3例の2例は承諾しても保証を言及していない例である。後の1例は被依頼者が依頼者に拒否されたことである（表3 参照）。

## 7. 今後の課題

本研究では、意味公式においては日本語母語話者と中国語母語話者の依頼発話行為の談話構造において、両言語の発話パターンの相違点を明らかにした。今後の課題として、負担度の度合いは中国人日本語学習者と日本人中国語学習者にどのような影響を与えるかを明らかにしたい。

## 参考文献

熊谷智子・篠崎晃一（2006）「依頼場面での働き方における世帯差・地域差」国立国語研究所（編）『言語行動における「配慮」の諸相』19-54. 東京：くろしお出版。

- グエン・ティ・ニュー・イー (2014) 「依頼発話における談話構造に関する日越対照研究：依頼内容の負担度に着目して」『日本語・日本文化研究』24, pp. 93-103. 大阪大学
- 関口剛司 (2007) 「日本語による依頼表現の一考察 - 日台異文化間コミュニケーションの視点から -」『龍華科技大學報』23, pp.99-117, 龍華科技大學
- 張雪梅 (2013) 「日本語と延辺朝鮮語における依頼談話の展開について — 談話構造とストラテジーの考察を中心に —」博士論文
- 趙丹楠 (2019) 「中国語母語話者と日本語母語話者による依頼表現にみられる意味公式の対照研究」『外国語学研究』(21), PP.21-30 大東文化大学大学院外国語学研究科